















■町民1人当たりの歳出内訳

議会費 7,947円 	総務費 45,978円 企業立地に関する 基本協定書締結式 	民生費 111,882円 	衛生費 65,743円 	労働費 246円 	農林水産業費 18,014円 	商工費 4,287円 
土木費 29,569円 	消防費 30,978円 	教育費 60,589円 	災害復旧費 4,128円 	公債費 44,179円 	諸支出費 39,033円 	合計 462,573円 

■健全化判断比率および資金不足比率

健全化判断比率、資金不足比率とも基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

〈健全化判断比率〉

(単位：％)

項目	説明	小野町	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する割合	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	全会計の実質的な赤字の標準財政規模に対する割合	—	20.0	40.0
実質公債費比率	一般会計などが実質的に負担する公債費の標準財政規模に対する割合	8.8	25.0	35.0
将来負担比率	地方債の残高をはじめ、一般会計などが将来負担すべき実質的な負担の標準財政規模に対する割合	—	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため「—」で表示しています。

※将来負担比率は、充当可能財源が将来負担額を上回るため「—」で表示しています。

〈資金不足比率〉

(単位：％)

項目	説明	小野町	経営健全化 基準
水道事業会計	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合	—	20.0
浄化槽整備推進事業特別会計		—	20.0

※資金不足額がないため「—」で表示しています。

■平成25年度特別会計決算

(単位：千円)

会計	収入済額	支出済額	差引
国民健康保険特別会計	1,415,912	1,376,835	39,077
後期高齢者医療特別会計	100,998	100,550	448
除染対策事業会計	197,742	197,742	0
介護保険特別会計	1,163,887	1,131,447	32,440
介護保険サービス事業特別会計	3,268	3,268	0
浄化槽整備推進事業特別会計	66,565	53,792	12,773
文化・体育振興基金特別会計	3,924	3,840	84
水道事業会計(収益的収入)	145,651	140,692	4,959
水道事業会計(資本的収入)	31,911	115,531	☆▲83,620

☆不足する額は、当年度分消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金および当年度分損益勘定留保資金(※1)で補てんしています。

※1 収益的収支の費用のうち、現金の支出を必要としない費用のことをいいます。小野町水道事業においては、減価償却費がこれに当たります。